

九重山

火山活動評価：静穏な状況(レベル1)

地震活動、噴煙活動は低調でした。また、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過しました。現在の火山活動度レベルは1です。平成17年2月1日以降、レベル1が継続しています。

概況

・噴煙活動(図1)

噴煙は白色・少量、噴煙高度の最高は400mで、特に変化はありませんでした。

・地震、微動活動(図1、図2)

火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されませんでした。

・火山性地震の月発生回数は18回でした。

・震源が求まった地震は5個で、山体付近のごく浅いところに分布し、これまでと変化はありませんでした。

・地殻変動(図3、図4)

・GPS連続観測では、長者原 牧ノ戸峠の基線長は長期的に縮みの傾向が見えるが、他の基線長にはほとんど変化はありませんでした。

・機種調査観測によるGPS繰返し観測では、硫黄山付近を中心に収縮傾向が認められました。

・熱観測(図5、図6)

・機種調査観測による熱観測では、熱異常域の広がり等の変化は認められませんでした。

・機種調査観測による全磁力繰返し観測では、硫黄山のA、B、C領域の北側で全磁力が減少、南側で増加し温度の低下傾向が認められました。

*機種調査観測を10日から14日にかけて実施しました。

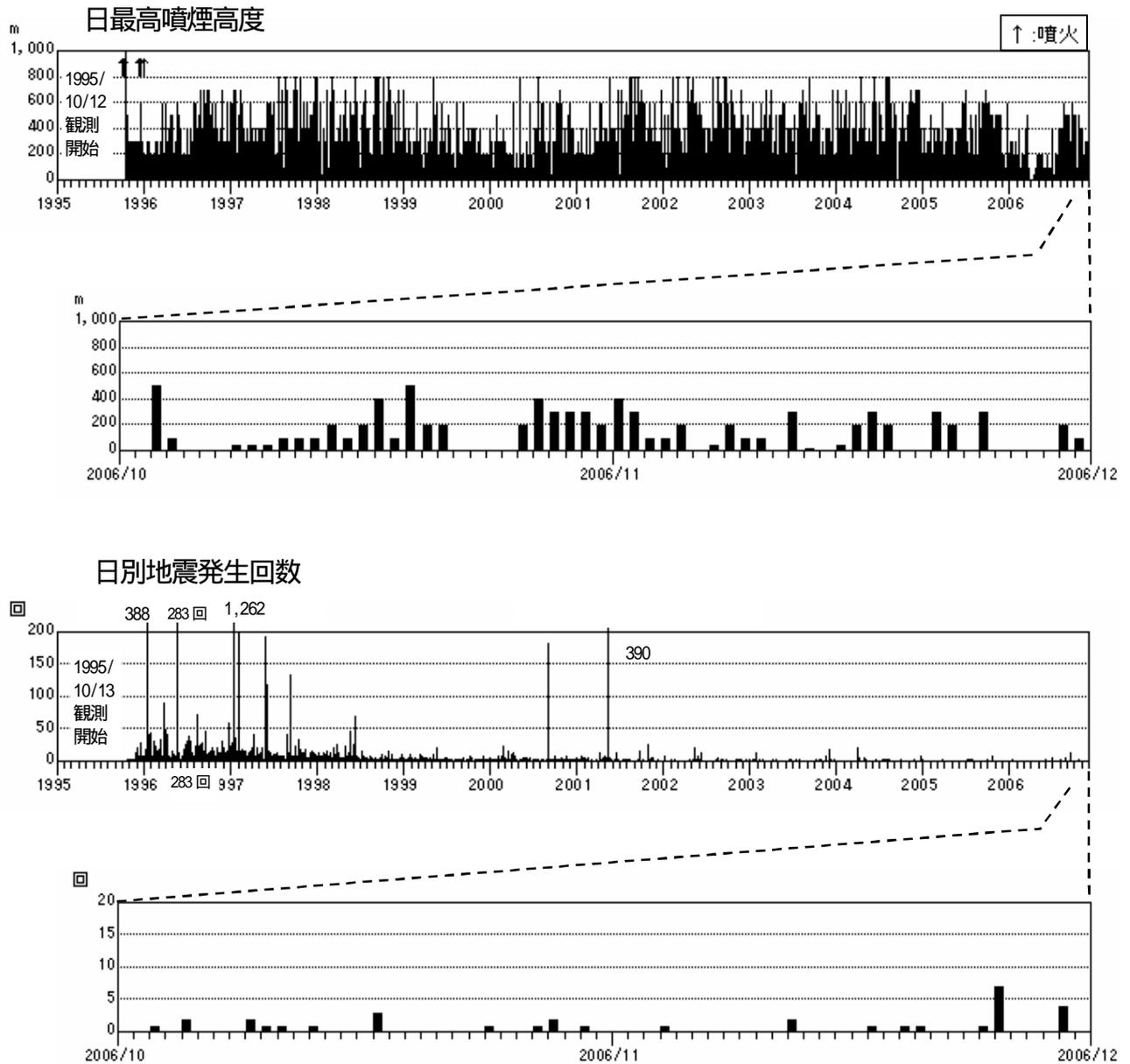


図1 火山活動経過図(1995年10月12日~2006年11月30日)

- ・ 噴煙は白色・少量、噴煙高度の最高は400mで、特に変化は認められませんでした。
- ・ 火山性地震の月回数は18回と少ない状態で経過しました。
- ・ 火山性微動の発生はありませんでした。

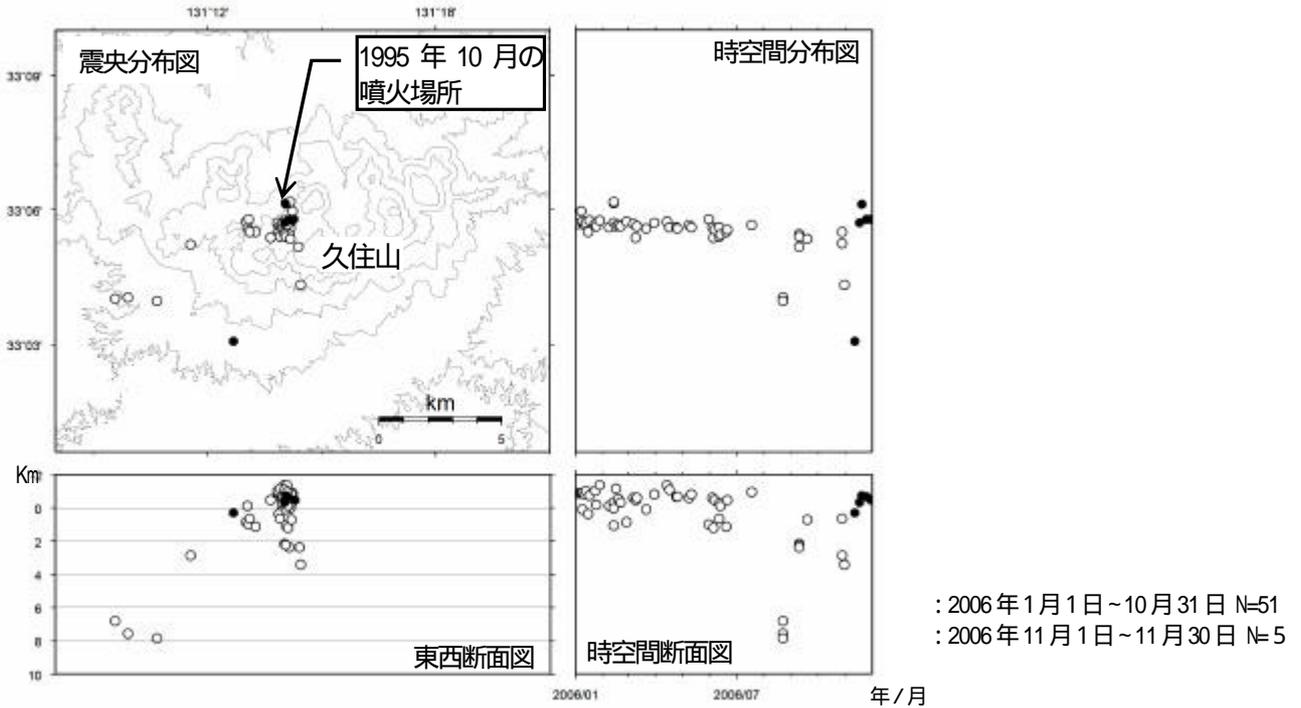


図2 火山性地震の震源分布図(2006年1月1日~2006年11月30日)

- ・ 震源が求まった地震の数は5個で、山体付近のごく浅い所に分布しており、これまでと変化はありませんでした。

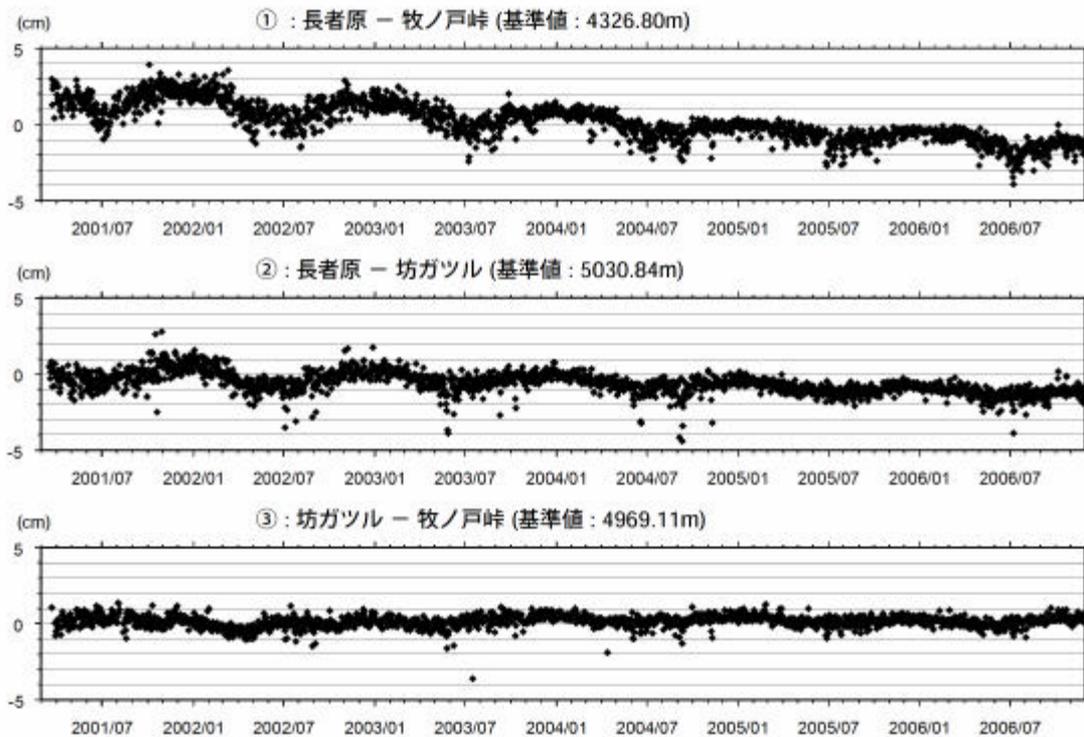


図3 GPS連続観測による基線長変化図(2001年3月1日~2006年11月30日)

- ・ GPSによる連続観測では、長者原 牧ノ戸峠の基線長は長期的に縮みの傾向が見えますが、他の基線長にはほとんど変化はありませんでした。

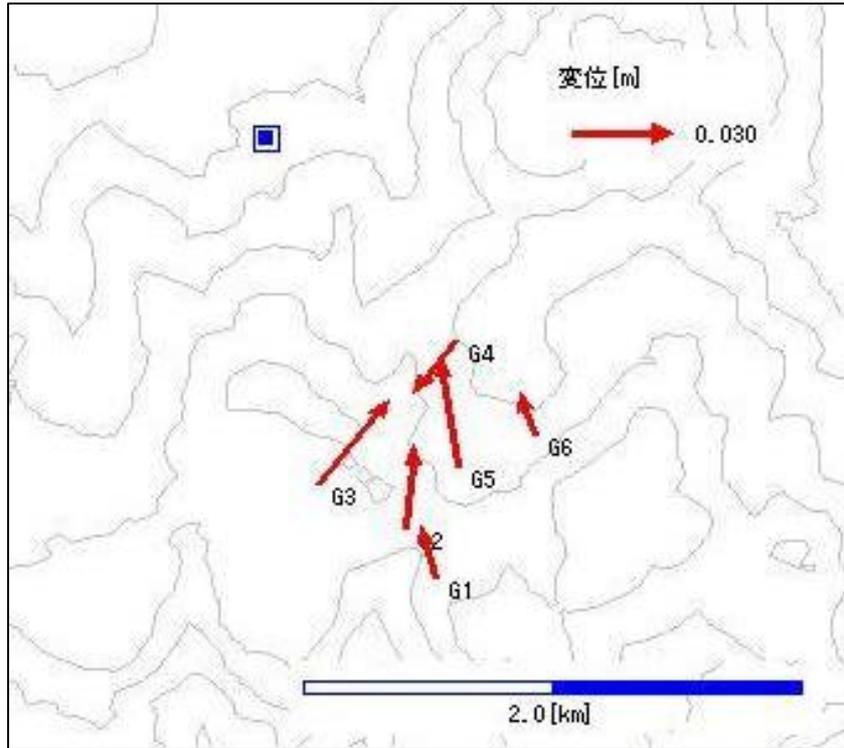


図4 GPS 繰返し観測の変位ベクトル(2005年10月から2006年11月)
 ・ 硫黄山付近を中心に収縮傾向が認められます。

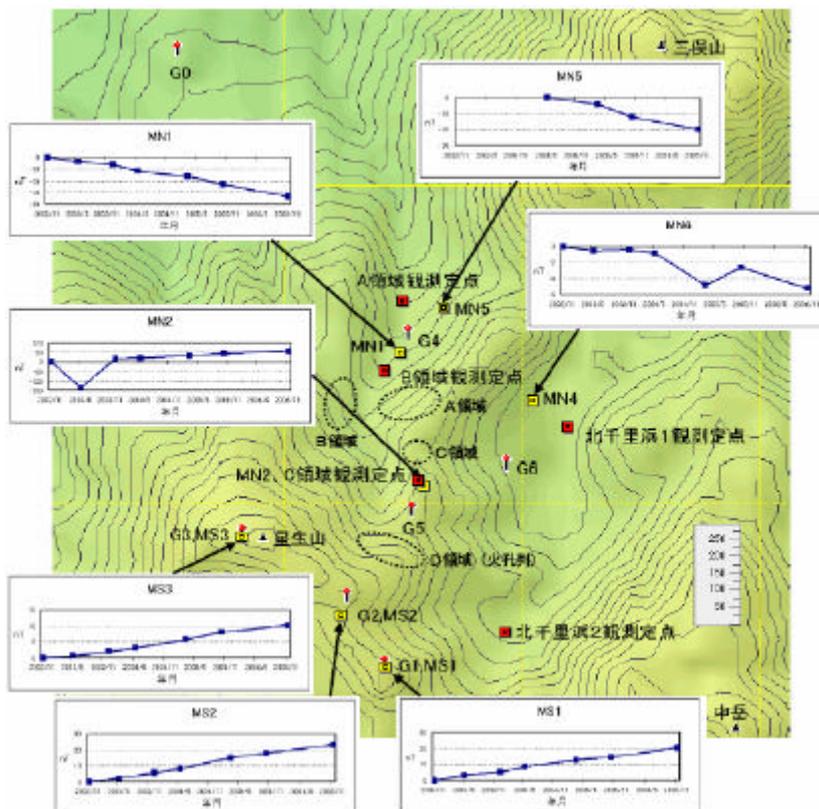
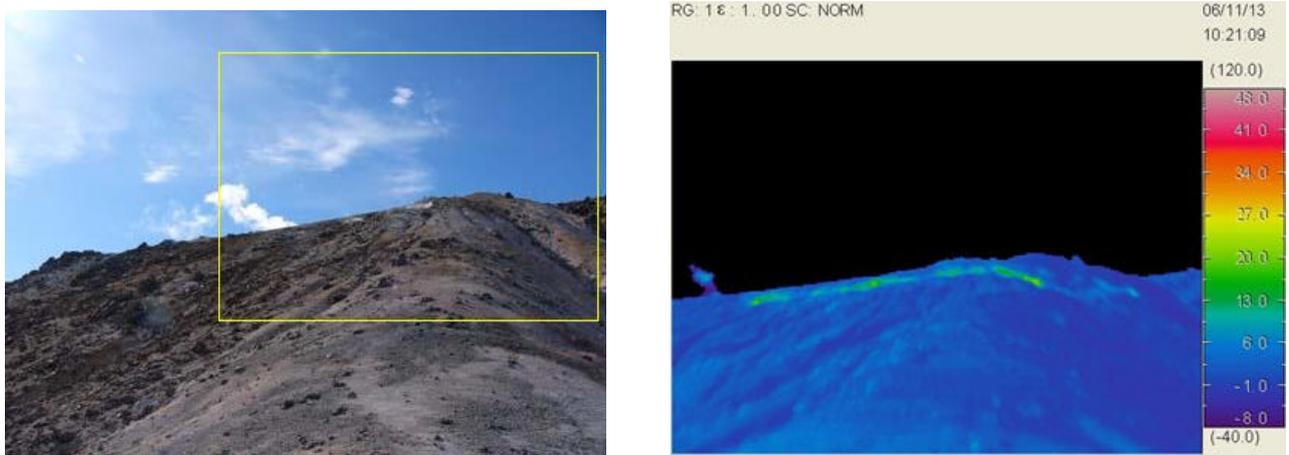


図5 全磁力繰返し観測結果
 ・ 硫黄山のA、B、C領域の北側で全磁力が減少し、南側で増加傾向が認められます。



A領域定点よりA領域を撮影(11月13日撮影 左 可視画像 右 赤外熱映像)

・噴気は白色で高さは10mでした。また、熱異常域の広がり等の変化はありませんでした。



C領域定点よりD領域のb火孔列を撮影(11月13日撮影 左 可視画像 右 赤外熱映像)

・噴気は白色で高さは5mでした。また、熱異常域の広がり等の変化はありませんでした。

図6 噴気地帯の熱観測結果

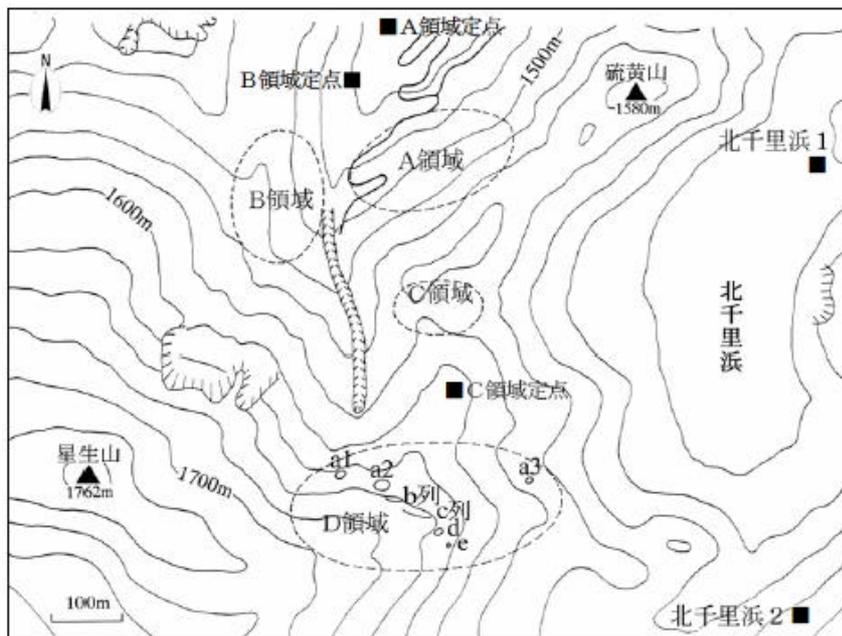


図7 熱観測点位置図

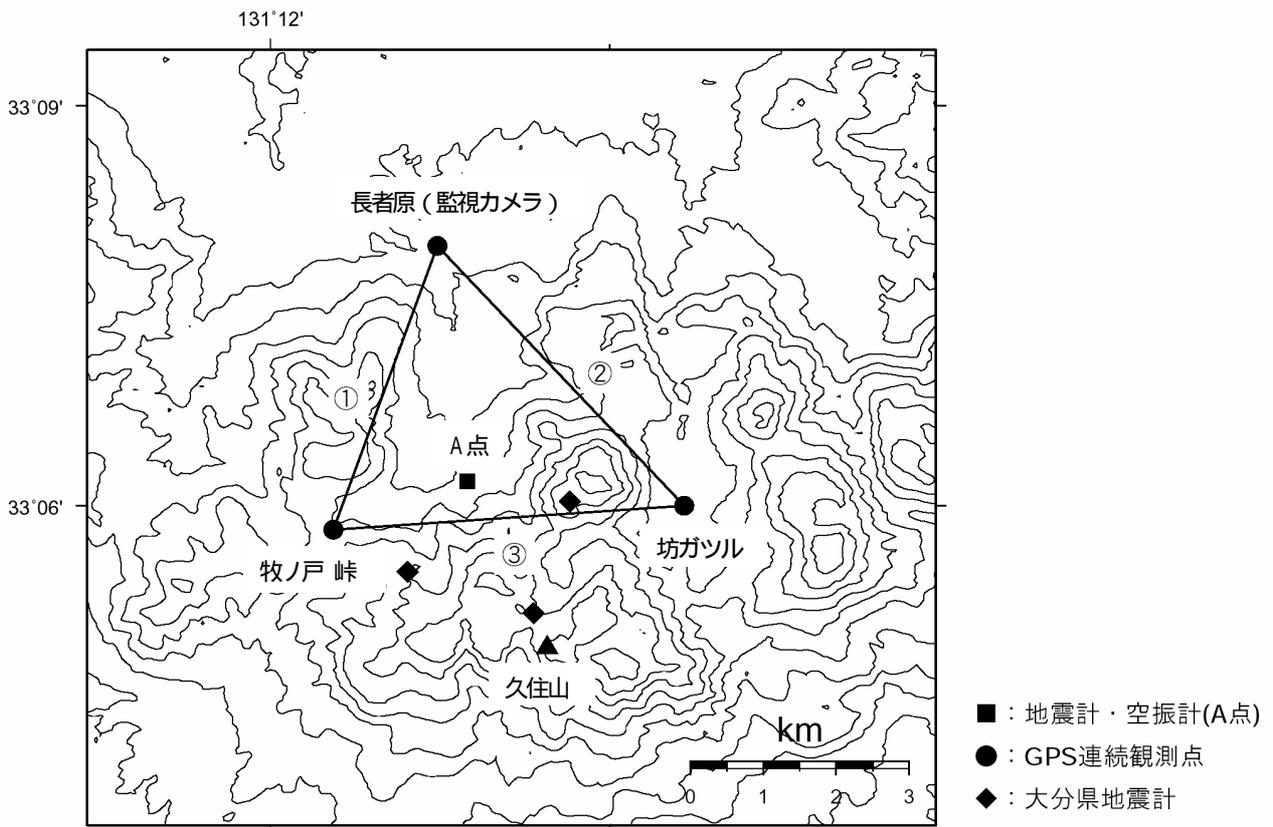


図8 観測点位置図